平成30年度 熊本市こころの健康センター所報

熊本市こころの健康センター

はじめに

熊本地震の発生から三年半が経過し、復興の加速化に取り組んでおり、災害公営住宅も順次竣工し仮設住宅からの入居が進んでいます。

さて、本市におきましては、平成31年3月に「熊本市障がい者生活プラン」及び 「熊本市自殺総合対策計画」が策定されました。

障がい者生活プランでは、障がい者基本法に基づき、障害者差別解消法の要旨に沿って、本市の障がい施策に関する基本的事項を定めるもので、「障がい者への理解促進と権利擁護」、「質の高い地域生活の実現」、「安心して暮らせる社会体制の整備」を目指すことを目標として、各種事業に取り組むことを明らかにしております。

この中で、当センターといたしましては、精神障がいについての偏見や差別をなく すため、様々な機会を通じ、精神障がいに関する正しい理解の促進に努めることとし ています。

また、自殺総合対策計画では、誰も自殺に追い込まれることのない「支え合う熊本市」の実現を目指すことにしています。本市は、自殺未遂歴のある方の割合が全国の割合を上回っています。このため、自殺予防を図るうえで自殺未遂者支援は喫緊の課題であることから、精神保健福祉士の資格を持つ専門の相談員を配置し、救急指定病院に搬送された自殺未遂者本人または家族の同意が得られた方について、入院先への訪問や帰宅後の面談を通して、自殺未遂に至る要因を把握し、支援に必要な情報提供や支援先の紹介など自殺未遂者支援に取り組むこととしています。

さらに、自殺対策につきましては、前年度に引き続き「自殺予防週間における電話相談の延長」、「包括相談会」、「ゲートキーパー養成研修・養成講座」、「自死遺族グループミーティング」、「支援者や市民向けの講演会」等を行ってまいりました。特に、ゲートキーパー養成講座には、地域で活動されている民生委員・児童委員を対象に開催したところ 1,377 人と大変多くの方にご参加をいただき感謝申し上げます。

依存症対策につきましても、被災者の生活環境が変わる中で、今後更にアルコールやギャンブル等が表面化することが懸念されます。引き続き、熊本こころのケアセンター、熊本県精神保健福祉センターと連携しながら被災者のこころのケアに努めてまいります。また、若者がオンラインゲームなどにのめり込み、生活や健康に深刻な影響が出ている「ゲーム障害」も喫緊の課題です。今年8月にゲーム障害、ネット依存をテーマに実施した思春期精神保健福祉研修会では、定員を超える参加をいただき、支援者の方々の関心の大きさを感じたところです。

近年、若年者を中心としたひきこもりなど自立や社会生活を営むうえで困難な問題が社会問題化しています。特に、中学校で不登校やひきこもり状態にあった方のうち、中学卒業時に進路未定で支援が途切れることが懸念されます。このため、教育委員会と連携し、これらの方々への切れ目のない支援を開始したところです。

最後になりましたが、当事者の皆様、家族の皆様、そして支援者の皆様のますます のご活躍と関係機関のご協力に感謝申し上げます。

目次

I =	ころの健康センターの概要
1 3	
	¹¹
	施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
	組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
5 i	歳入及び歳出決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
π	ころの健康センター業務実績
	で画・立案
(1)	
(2)	熊本市自殺対策連絡協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(3)	熊本市自殺対策連絡会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	精神保健福祉相談(こころの健康相談)
(1)	こころの健康相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(2)	平成 30 年度の新規相談受付者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3	人材育成・教育研修
(1)	精神保健福祉担当者研修会····································
(2)	依存症研修会・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(3)	ゲートキーパー養成講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1(
(4)	自殺予防研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(5)	思春期精神保健福祉研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(6)	精神障がい者社会復帰支援(認知機能)研修・講演会・・・・・・・・・12
(7)	精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会・・・・・・・・・・・・・12
4	普及啓発
(1)	依存症家族教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(2)	依存症講演会(こころの健康づくり講演会・家族教室)・・・・・・・14
(3)	依存症当事者グループミーティング・・・・・・・・・・・・・・・・・14
(4)	自死遺族グループミーティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
(5)	自殺対策講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(6)	ピアサポート講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
(7)	ピアサポート講演会・・・・・・・・・16
(8)	WRAP (元気回復行動プラン) 集中クラス・・・・・・・・・・・16
(9)	パンフレット等の普及啓発資料の作成・配布・・・・・・・・・・・・・・・・16

5	組織育成
(1)	支援件数・・・・・・・・17
(2)	支援内容・・・・・・・・・・・17
6	関係機関への技術支援
(1)	
(2)	個別ケース処遇に関する技術指導・援助 延件数(再掲)・・・・・・・19
(3)	個別ケース処遇に関する検討会議 延件数(再掲)・・・・・・・・・20
(4)	関係機関事業に関する技術支援・援助 延件数 (再掲)・・・・・・・20
(. ,	
7	自殺・うつ病対策
(1)	くらしとこころの悩みの相談会(包括相談会)・・・・・・・・・・21
(2)	自死遺族グループミーティング(再掲)・・・・・・・・・・・・21
(3)	自殺対策講演会(再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
(4)	ゲートキーパー養成講座 (再掲) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(5)	自殺予防研修会(再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
(3)	
8 ,	依存症対策
_	依存症当事者グループミーティング(再掲)・・・・・・・・・・・・・・24
	依存症家族教室 (再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
	依存症講演会(こころの健康づくり講演会・家族教室)(再掲)・・・・・24
	依存症予防普及啓発講話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
	依存症研修会・講演会(再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・25
	保護観察所でのストレス講話(引受人会)・・・・・・・・・25
(0)	
9 ;	精神障がい者の社会復帰支援
(1)	就労ミーティング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
(2)	ピアサポート講座(再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
(3)	ピアサポートの集い(フォロー研修)(再掲)・・・・・・・・・・27
(4)	ピアサポート講演会(再掲)・・・・・・・・・・・・・・・・・27
(5)	WRAP (元気回復行動プラン) 集中クラス (再掲) ············28
(6)	精神障がい者社会復帰支援(認知機能)研修・講演会(再掲)・・・・・28
(7)	精神障がい者社会復帰支援、認知機能ミニ研修会(再掲)・・・・・・・・28
(1)	
1 0	ひきこもり対策推進事業
(1)	ひきこもり支援センター「りんく」・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
(2)	センター概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
(3)	事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
(4)	ひきこもりサポーター養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
	その他のひきこもり対策推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・30 30
	- COADSOLATE COLLEANDAR E E = = = = = = = = = = = = = = = = =

1 (1 (2) 自立支援医療費(精神通院) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1 2	2 精神医療審査会の審査に関する事務
(1) 定期等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
(2	?) 退院等請求(請求件数、審査結果の内訳)・・・・・・・・・・・・・・33
(3	
(4) 代理人・家族等による請求・・・・・・・・・・・・・・・・・33
III 2	平成28年熊本地震への対応(平成 30 年度活動分)
(1) 相談 · · · · · · · · · · · · 34
(2	?) 広報・啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
(3	3) 人材育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
(4	り)技術支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
(5	i) 熊本こころのケアセンターについて(参考)・・・・・・・・・・・37

I 熊本市こころの健康センターの概要

熊本市こころの健康センターは、精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律第6条第1項に規定される精神保健福祉センターとして設置されている。

1 沿革

平成24年 4月 1日 熊本市こころの健康センター開設

平成24年 5月 1日 熊本市こころの健康センター診療所認可

平成24年10月 2日 就労準備デイ・ケア (精神科ショートケア) 開始

平成26年10月 1日 熊本市ひきこもり支援センター「りんく」設置

(業務委託開始)

平成29年 3月31日 就労準備デイ・ケア終了

こころの健康センター診療所休診

2 業務概要

熊本市こころの健康センターでは、以下の業務を行っている。

- (1)企画・立案
- (2)精神保健福祉相談
- (3)人材育成・教育研修
- (4)普及啓発
- (5)組織育成
- (6)関係機関への技術支援
- (7)自殺・うつ病対策
- (8)依存症対策
- (9)精神障がい者の社会復帰支援
- (10)ひきこもり対策推進事業
- (11)調査研究
- (12)自立支援医療費(精神通院)及び精神障害者保健福祉手帳の判定
- (13)精神医療審査会の審査に関する事務

3 施設概要

所在地 〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1番1号

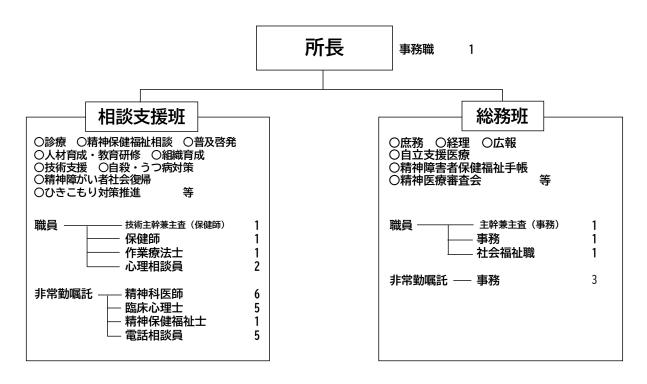
熊本市総合保健福祉センター(ウェルパルくまもと)3階

面積 35.10 ㎡

電話番号 代表番号 096-366-1171

FAX096-366-1173こころの健康相談096-362-8100熊本市精神医療審査会096-366-1222

4 組織 (平成31年3月現在) 熊本市こころの健康センター組織図



5 歳入及び歳出

(1) 歳入	9,688,086円
国庫補助金	9, 688, 086 円
使用料	0円
手数料	0円

(2) 歳出

41,220,550円

(節別内訳)

節	金額	節	金額	
報酬	13, 354, 761 円	医薬材料費	4,752円	
共済費	812,523円	役務費	6,403,534円	
報償費	933, 730 円	委託料	17, 177, 184円	
普通旅費	610,880円	使用料	156,687円	
特別旅費	220, 250 円	備品購入費	0円	
一般需用費	1, 262, 865 円	負担金補助	238,000円	
食糧費	12,510円	公課費	0円	
燃料光熱水費	32,874円			

Ⅱ 熊本市こころの健康センター業務実績

1 企画・立案

地域精神保健福祉を推進するため、精神保健福祉の専門的な立場から、関係機関及び熊本市の精神保健福祉関係部署に対し、精神保健福祉に関する提案、意見具申等を行っている。

(1) 熊本市精神保健福祉審議会(行政関係職員として所長が参加)

精神保健福祉に関する事項を調査審議する。

精神保健及び精神障がい者の福祉に関する本市の取り組みについての意見や法第 19 条の 9 第 2 項規定による指定病院の指定の取り消しの際の意見を聴取する。

期日	協議内容	参加委員数
H31.1.8	○精神疾患者の現状等について	11人
	○事業の実施状況等について	
	○第5期熊本市障がい保健福祉計画及び第1期熊本市障がい児福祉計	
	画の策定について	

(2) 熊本市自殺対策連絡協議会(行政関係として当センターから複数名参加) 熊本市における自殺者数の減少を図るため、市内の関係機関・団体が連携し、自殺対策 を総合的に推進することを目的とする。

期日	協議内容
H30. 12. 5	○熊本市の自殺の現状について
	○熊本市の取り組みについて
	○各関係機関の取り組みについて
	○改正自殺総合対策大綱について

(3)熊本市自殺対策連絡会(行政関係として当センターから複数名参加)

熊本市における自殺者数の減少を図るため、庁内の関係各課が連携し、自殺対策を総合 的に推進することを目的とする。

期日	協議内容
H30. 8. 31	○熊本市の自殺の現状について○各課の取り組みについて○自殺総合対策大綱の見直しについて

2 精神保健福祉相談(こころの健康相談)

当センターでは、区役所及びその他関係機関の複雑困難事例、医療機関及び相談機関等につながっていない困難事例等の相談対応を実施している。また、これら以外の相談事例についても、必要に応じて対応している。

相談体制は、来所相談と電話相談で、来所相談は事前予約制としている。また、来所が 困難である事例等は、必要に応じて訪問を行っている。来所相談はセンター職員及び非常 勤職員で対応、電話相談は専属の非常勤職員で対応している。電話相談については、専用 回線を設置し、平日の 9:00~16:00 で、こころの悩み等の幅広い相談に対応している。

(1) こころの健康相談(全体)

1)相談件数

	来所相談		電話	電話相談		訪問	
	実人数	延件数	新規	延件数	実人数	延件数	
老人精神保健	9	9	68	83	1	1	
社会復帰	6	7	7	32	0	0	
アルコール	30	32	90	172	0	0	
薬物	16	16	24	53	0	0	
ギャンブル	40	80	78	151	0	0	
ゲーム	2	5	4	7	0	0	
思春期	13	15	70	95	0	0	
心の健康づくり	135	161	633	1, 101	3	6	
うつ・うつ状態	15	16	64	86	0	0	
摂食障害	2	2	9	9	0	0	
てんかん	1	1	4	8	0	0	
その他	84	113	375	4, 765	2	3	
計	353	467	1,426	6,562	6	10	



(相談件数の再掲)

	来所相談		電話	相談	訪問	
	実人数	延件数	新規	延件数	実人数	延件数
ひきこもり	17	23	5	21	1	3
発達障害	39	62	44	95	0	0
自殺関連	15	17	45	86	1	2
自殺者の遺族(再掲)	1	1	7	13	1	2
犯罪被害	4	5	4	6	0	0
災害	5	8	17	31	0	0

2) 男女別件数

	来所	目談	電話	相談	訪問		
	実人数	延人数	新規	延人数	実人数	延人数	
男	192	267	682	4, 403	2	3	
女	161	200	734	2, 142	4	7	
不詳	0	0	10	17	0	0	
計	353	467	1, 426	6, 562	6	10	

(2) 平成30年度の新規相談受付者の状況

1)来所相談

(ア) 年齢別

	6 ~12	13~ 15	16~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80~	不詳	計
男	0	1	5	38	50	34	32	13	9	3	7	192
女	0	8	10	25	33	25	23	17	10	4	6	161
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	9	15	63	83	59	55	30	19	7	13	353

(イ) 相談者内訳

	本人		本 人 以 外							
	华八	父	母	配偶者	子	兄弟姉妹	祖父母	親戚	その他	計
男	110	10	31	20	4	7	0	3	7	192
女	104	5	24	9	7	4	1	0	7	161
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	214	15	55	29	11	11	1	3	14	353

(ウ) 主たる相談内容

	A精神疾患・障害の相談	B依存・ 食行動の 問題	C思春期 相談	D家族関 係の問題	E対人関 係の問題		G福祉・ 社会復帰 等の問題		計
男	47	74	1	7	7	29	21	6	192
女	54	18	6	24	9	33	15	2	161
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	101	92	7	31	16	62	36	8	353

(工) 受付経路

	関係機 関紹介	市 政 だより	チラシ・パン フレット	インター ネット	知人の紹介	知って いた	その他	不詳	計
男	61	10	4	42	12	31	28	4	192
女	45	23	4	21	16	28	12	12	161
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	106	33	8	63	28	59	40	16	353

(関係機関紹介の内訳件数)

	保健所	区役所	福祉事務所	医療施設	介護老 人保健 施 設	障害者 支 援 施 設	社会福 祉施設	教育関 係機関	その 他	計
男	1	13	0	16	0	2	0	2	27	61
女	2	11	0	10	0	2	0	2	18	45
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	24	0	26	0	4	0	4	45	106

2)電話相談

(ア) 年齢別

	0~ 5	6~ 12	13~ 15	16~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80~	不詳	計
男	1	14	11	33	117	153	109	79	46	28	17	74	682
女		9	20	31	107	154	102	78	60	39	26	108	734
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
計	1	23	31	64	224	307	211	157	106	67	43	192	1, 426

(イ) 相談者

	* 1				4	人以夕	 			計
	本人	父	母	配偶者	子	兄弟姉妹	祖父母	親戚	その他	ēl
男	376	35	112	68	23	35	4	8	21	682
女	486	17	105	33	31	17	4	13	28	734
不詳	4	0	0	0	0	0	0	0	6	10
計	866	52	217	101	54	52	8	21	55	1,426

(ウ) 主たる相談内容

	A精神 疾患・ 障害の相 談	B依存・ 食行動の 問題	C思春 期相談	D家族 関係の 問題	E対人 関係の 問題	F心の 健康の 問題	G福祉・ 社会復帰 等の問題	Zその他	計
男	219	143	20	60	36	164	33	7	682
女	235	58	22	104	59	219	29	8	734
不詳	0	0	0	0	0	8	2	0	10
計	454	201	42	164	95	391	64	15	1, 426

(工) 受付経路

	関係機 関紹介	市 政 だより	チラシ・パン フレット	インターネ ット	知人の 紹 介	知って いた	その他	不詳	計
男	230	42	28	266	18	17	29	52	682
女	198	57	41	336	21	11	37	33	734
不詳	2	0	0	4	0	0	0	4	10
計	430	99	69	606	39	28	66	89	1, 426

(関係機関紹介の内訳件数)

	保健所	区役所	福祉事務所	医療施設	介護老 人保健 施 設	障害者 支 援 施 設	社会福 祉施設	教育関 係機関	その 他	計
男	15	38	2	87	0	2	0	3	83	230
女	9	33	5	85	0	1	0	1	64	198
不詳	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
計	24	71	7	173	0	3	0	4	148	430

3 人材育成・教育研修

当センターでは、地域の精神保健福祉活動の推進のために、研修会及び講演会を開催している。精神保健福祉に携わる職員等に対し専門的知識及び技術の習得を目的とし、様々な目的に応じて参加できるように企画している。

平成 28 年度からは、熊本地震後で被災した市民への支援のため、大規模災害後の課題への対応スキル向上のための研修を実施している。(Ⅲ 平成 28 年熊本地震への対応に再掲)

	研	修会等
	件数	参加延人数
老人精神保健	0	0
社会復帰	3	97
アルコール	1	93
薬物	0	0
思春期	1	200
心の健康づくり	0	0
ひきこもり	0	0
自殺関連	13	770
犯罪被害	0	0
その他	1	52
計	19	1, 212

	参加延人数
	(所属別)
保健所	56
区役所	385
福祉事務所	5
医療機関	203
介護老人保健施設	0
障害者支援施設	42
社会福祉施設	0
教育関係機関	143
その他	378
計	1, 212

(1)精神保健福祉担当者研修会

精神保健福祉業務に従事する保健所及び区役所職員等が、必要な専門的知識及び技術を習得することで、地域精神保健福祉活動の推進を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人 数
H30. 5. 14	講話 ・精神保健福祉法の概要及び 精神保健福祉室の業務について ・障害者総合支援法と障害福祉サービ スについて ・こころの健康センター業務について ・支援者が知っておきたい精神科対応 ツール ・ひきこもり支援センター「りんく」 業務について ・相談・面接の基礎	・精神保健福祉室(職員) ・区役所福祉課(職員) ・こころの健康センター(職員) ・熊本こころのケアセンター (精神科医師) ・ひきこもり支援センター 「りんく」(職員) ・こころの健康センター(職員)	52 人

(2) 依存症研修会・講演会

精神保健福祉業務に従事する者が、依存症についての必要な専門的知識及び技術を習得することで、依存症への適切な対応の充実を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 9. 21	講話	独立行政法人国立病院機構	93 人
	「アルコール依存症の治療の最近の動向	久里浜医療センター	
	と依存症当事者への支援」	真栄里 仁 氏	

(3) ゲートキーパー養成講座

自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした講 座等を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 6. 15	自殺を考える人、自殺を計画する人	こころの健康センター職員	44 人
12.13	のサインを見逃さず、危険性をはか		
12.14	り、安全計画をたてた上で、専門家		
	等へつなぐ一連の対応について、実		
	際の場面でのスキルを身につけるた		
	めのロールプレイ型実践研修		
H30. 8. 28	熊大公衆衛生看護学学生の学生実習	こころの健康センター職員	23 人
	にてゲートキーパーについての講話		
H30. 10. 24	医師臨床研修にて、医師向けに自殺	こころの健康センター職員	4人
	対策事業説明、ゲートキーパーにつ		
	いての講話・相談機関の紹介		
H30.11.8	東区障がい福祉ネットワーク会議に	こころの健康センター職員	19人
	てゲートキーパーやストレス・マネ		
	ジメントについての講話		
H30. 12. 26	庁内管理職向けにゲートキーパーに	カウンセリングオフィス・KMJ	55人
	ついての講話	メンタルアシスト	
		松下 弘子 氏	
H31.1.28	熊本市民生委員・児童委員全体研修	こころの健康センター職員	1,377人
	会にてゲートキーパーについての講		
	話		
H31. 2. 4	ウェルパルくまもと職員向けにゲー	こころの健康センター職員	66人
3. 18	トキーパーについての講話(安全衛		
	生委員会共催)		

(4) 自殺予防研修会

精神保健福祉活動に従事する支援者に対して自殺予防の研修会を開催し、自殺予防の推進を図る。一部研修会(※)は、平成28年熊本地震の影響を受け、災害時のこころのケア研修として実施。熊本県精神保健福祉センター、熊本こころのケアセンターと共催で開催した。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 6. 27	電話対応スキルアップ研修会	カウンセリングオフィス・	59人
	講話・演習	KMJ メンタルアシスト	
	「聴く力と伝える力で市民サービスを向上さ	松下 弘子 氏	
	せるには」		
H30. 7. 31	講話「青少年の自殺予防」	直方中村病院	140 人
		今村 芳博 氏	
	講話「遺された子どもの今と未来を支えるた	NPO 法人こどもグリーフサポー	
	めに」	トふくおか	
		秋田 寛子 氏	
H30. 8. 8, 9	講話・グループワーク (※)	兵庫県こころのケアセンター	41 人
	「サイコロジカル・リカバリースキル」	大澤智子氏	
H30. 10. 8	講話「自死予防と家族や周囲(支援者等)へのケ	国立病院機構熊本医療センタ	23 人
	アについて〜医療現場から地域の支援に向けて	_	
	~」(熊本県精神保健福祉センター共催)	橋本 聡 氏	
H30. 10. 10	講話・グループワーク (※)	兵庫県こころのケアセンター	116人
	「サイコロジカル・ファーストエイド」	大澤 智子 氏	
H30. 11. 14	熊本で学ぶ災害復興期のこころのケア〜仮設住		160 人
	宅から新たなコミュニティへ~ (※)	熊本こころのケアセンター	
	講話「熊本地震とこころのケア〜今、何合目?〜」	矢田部 裕介 氏	
	講話「市町村保健師による心のケア〜地域保健活	宮城県南三陸町地域包括支援	
	動を通してのコミュニティづくり~」	センター	
		工藤初恵氏	
	講話「生活者の視点に立った心のケア〜災害公営		
	住宅の現状と対策~」	巻地域センター	
		岡崎 茂 氏	
	鼎談		
H30. 11. 16	自殺対策計画策定研修会	ヘルスポロモーション推進セ	66 人
	講話「一人ひとりのこころの元気づくりに向けて	ンター〔オフィスいわむろ〕	
	~誰にでもできる自殺対策~」	岩室神也氏	

(5) 思春期精神保健福祉研修会

教育関係者及び精神保健福祉業務に従事する者が、思春期における「発達障がい」や「自殺予防」等の課題への理解を深め、地域精神保健福祉活動の推進を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 7. 31	講話「子どもと家族のメンタルヘル	向陽台病院	200人
	ス」	山脇 かおり 氏	

(6)精神障がい者社会復帰支援(認知機能)研修・講演会

精神障がい者の社会復帰促進のための関係機関職員に対する人材育成を目的に教育研修を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30.12.3	「認知機能トレーニングをリカバリー	NPO 法人日本学び協会ワンモア	77人
	や就労支援に活かす」	統括所長 作業療法士	
		芳賀 大輔 氏	

(7) 精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会

医療機関をはじめ支援機関スタッフが、認知機能の視点を持った支援や、認知機能の訓練や活動を現場に取り入れていくための動機づけを図ることを目的に研修会を実施している。

期日	内容講師		参加人数
H31. 2. 27	「認知機能について」	こころの健康センター職員	8人
(対象)	「パソコンソフト"JCORES"を活用し		
医療機関	た認知機能リハビリテーション」		
	「認知機能の支援への活かし方」		
H31. 2. 28	同上	同上	12人
(対象)			
就労移行支			
援事業所			

4 普及啓発

当センターでは、精神保健福祉に関する知識、精神障がいについての正しい知識、精神障がい者の権利擁護等について、普及啓発を行っている。

熊本地震発災後の復興期のこころのケアに関する啓発を継続している。

(Ⅲ 平成29年熊本地震への対応に再掲)

	普及啓発	
	件数	参加人数
老人精神保健	0	0
社会復帰	21	202
アルコール・薬物	49	293
思春期	0	0
心の健康づくり	0	0
ひきこもり	0	0
自殺関連	8	77
犯罪被害	0	0
その他	0	0
計	78	572

(再掲)

	件数	参加人数
地域住民への講演、交流会	3	169
薬物関連問題の再掲	1	56
精神障害者(家族等)に対する教室等	75	403
薬物関連問題の再掲	47	227
精神ボランティア育成	0	0

(1)依存症家族教室

アルコールや薬物・ギャンブルなどの依存症に伴う問題に対応するために、家族が学びあい、共感と癒しを得る機会を提供する。

期日	回数	内容	参加人数
毎月第1火曜日	22 回	「依存症」についての講話、回復者から	延119人
18:30~20:30		の体験談、家族の学習会、コミュニケー	
毎月第3火曜日		ションなどについて	
13:30~15:30			

(2) 依存症講演会(こころの健康づくり講演会・家族教室)

依存症で悩む家族が家族関係について正しい知識を習得し、問題行動への対応を学ぶための機会として実施している。また、広く市民を対象とし、「心の健康づくり」として依存症に関わる啓発を行っている

期日	内容	講師	参加人数
H30. 11. 11	講演	(株)アスク・ヒューマン・ケア	56 人
	「わかっているけどやめられない~家族崩壊に	取締役、研修相談センター長	
	つながるアルコール依存症等について~」	水澤 都加佐 氏	
	家族教室	同上	41 人
	「依存症を抱える家族問題~共依存について		
	~]		

(3) 依存症当事者グループミーティング

依存症当事者を対象とし、依存症の回復プログラムを用いて、やめたくても自分でコントロールできない様々な行動を変えていくことを目的としたグループミーティングを行っている。

期日	回数	内容	講師	参加人数
毎月	24 回	12 ステップを用いたグループミー	相談支援センター	延108人
第1·3金曜日		ティング	熊本ダルク施設長	
14:00~16:00			田邊 忠司 氏	

(4) 自死遺族グループミーティング

大切な人を自死(自殺)で亡くした者が悩みや苦しみを話せる機会を提供することを目的として実施している。

期日	回数	内容	参加人数
偶数月	7 回	フリートーク及び相談	延 24 人
第3木曜日		1回は「自死遺族・遺児のための交流会」を開催(熊本県精神保	
14:00~16:00		健福祉センター共催)	

(5) 自殺対策講演会

市民を対象に、アルコールと心身の健康との関連について理解を深め、依存症予防に関して普及啓発を行うことで自殺対策を図る。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 9. 22	講話「楽しく長生きできるお酒との付き合い方」	久里浜医療センター	53人
		真栄里 仁 氏	

(6) ピアサポート講座

精神障がい者が、その経験を生かし、理解と共感を持って仲間をサポートしていけるように知識や情報を知る機会を提供することを目的に実施している。また、講座修了者等を対象にピアサポートスキルの向上やさらなる知識の習得に向けたフォロー研修の機会を提供している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 8. 3	第1回	こころの健康センター職員	14人
	「ピアサポートを考えよう!」		
	グループワーク・意見交換		
H30. 8. 10	第2回	①一般財団法人杏仁会くまもと	11人
	「ピアサポート実践者の話を聞いてみよう!」	青明病院ピアサポート専門員	
	「精神障がい者地域移行・地域定着支援でのピ	②ピアサポートくまもと	
	アサポーターの役割」	ピアサポーター2名	
	グループワーク・意見交換	③障がい保健福祉課	
		精神保健福祉室職員	
H30. 8. 17	第3回	①ピアサポートくまもと	12 人
	「私のリカバリー~体験談とピアサポート」	ピアサポーター2名	
	「ピアサポートで大切にしたいこと」	②こころの健康センター職員	
	グループワーク・意見交換・情報提供		

ピアサポートの集い(フォロー研修)

期日	内容	講師	参加人数
H30. 5. 21	第1回	こころの健康センター職員	7人
	「ピアサポートのさまざまなかたち」		
	グループワーク		
	情報提供		
H30. 11. 22	第2回	こころの健康センター職員	9人
	「ピアサポートにおける距離感~バウンダリー		
	~]		
	グループワーク		
	情報提供		
H31. 3. 11	第3回	こころの健康センター職員	10人
	「リカバリーに大切なこと~ストレングス~」		
	グループワーク		
	情報提供		

(7) ピアサポート講演会

当事者、支援者、市民等に向けて他都市で行われているピアサポート活動を紹介し、ピアサポートの普及・啓発を図ることを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 7. 9	「当事者性を活かしたピアサポート〜当事 者・支援者の立場から〜」	株式会社 MARS 代表取締役/精神保健福祉士 中田健士 氏 千葉県精神障がい者ピアサポート	60 人
	「退院支援を通したピアサポート活動」	専門員/株式会社 MARS 就労移行支援事業所コパス 就労支援員 櫻田なつみ 氏	

(8) WRAP(元気回復行動プラン)集中クラス

日常生活で苦労や困難に直面した際にWRAP(元気回復行動プラン)を利用して、元気を回復する、または元気を保つための方法を学ぶ機会を提供することを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 8. 29	WRAP(元気回復行動プラン)	WRAP ファシリテーター	実17人
~8.30		3名	延33人

(9) パンフレット等の普及啓発資料の作成・配布

種類	名称
パンフレット	「うつ病のこと、知っていますか?」
	「統合失調症のこと、知っていますか?」
	「依存症を知っていますか?」 「思春期について」
リーフレット	「熊本市こころの健康センター」
	「大切な人を亡くされた方へ」
	「依存症かもしれません」
	「被災されたみなさまへ」
チラシ	「被災されたお子さんをお持ちの家族の方へ」

5 組織育成

当センターでは、地域精神保健福祉活動の推進のために、地域住民による組織的活動に協力するとともに、組織の育成について、専門的立場からの助言、協力等を行っている。

(1)支援件数

	組織育成(支援件
	数)
老人精神保健	0
社会復帰	10
アルコール・薬物	22
思春期	3
心の健康づくり	2
ひきこもり	0
自殺関連	0
犯罪被害	0
その他	11
計	48

		糸	且 織	育	成		
	患者会	家族会	依存症の 回復)自助団 復施設	体・	その他	計
支援件数	10	8			11	19	48

(2)支援内容

1)精神障がい者等当事者グループ

関係組織	回数	育成・支援内容
地域移行支援ピアサポーター	9 回	地域移行支援ピアサポーター連絡会打ち合わせ・意見交換会参加等
(ピアサポートくまもと)		
当事者活動グループ	1 💷	WRAP 打ち合わせ参加等
NPO 法人熊本 DARC	3 回	NPO 法人熊本 DARC 総会・NPO 法人熊本 DARC を支援する会理事会会議
		参加等
NPO 法人断酒会熊本支部	1 💷	会への参加
女性のための断酒会アメシスト	3 回	例会参加
AA 熊本地区	1 回	第29回 AA 熊本地区オープンスピーカーズミーティング
GA	1 回	GA ミーティング
NA	1 回	NA ミーティング

2) 家族会

関係組織	回数	育成・支援内容
熊本県精神障がい者家族会	1 回	熊本県精神障がい者家族大会参加
熊本市心の障がい者家族会(むつみ会)	5 回	家族教室参加・運営支援・打ち合わせ
断酒会家族会 みのり	1 回	会への参加
NPO 法人ダルク家族会	1 回	会への参加

3) その他

関係組織	回数	育成・支援内容
精神保健福祉ボランティア	2 回	学習会・情報交換会・養成講座終了生の集い等
熊本アディクションフォーラム 実行委員会	9 回	実行委員会参加、熊本アディクションフォーラム参加等
熊本アルコール関連問題学会	2 回	運営委員会・理事会、学会参加
熊本精神科リハビリテーション 研究会	4 回	運営会議・理事会・総会・研究会参加等
児童精神症例検討会	3 🗇	会への出席 年3回実施。

6 関係機関への技術支援

当センターでは、地域精神保健福祉活動の推進のため、保健所、区役所及びその他関係機関に対し、専門的立場から技術支援を行なっている。常勤医師不在のため区役所や地域包括支援センターからの相談が著しく減少した。

平成 29 年度も、熊本地震後に各区に設置された「地域支え合いセンター」への支援を「熊本こころのケアセンター」と共に引き続き実施。

(1)技術指導・援助延件数

		技術指導・援助											
	老人精神保健	社会復帰	アルコ ール	薬物	ギャ ンブ ル	思春期	心の健康 づ く り	ひきこ もり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
保健所	1	0	0	0	0	0	12	0	1	0	0	6	20
区役所	4	1	26	3	4	10	73	1	17	1	33	57	230
福祉事務所	0	0	2	0	2	4	1	0	2	0	0	4	15
医療施設	0	2	9	1	4	1	8	0	7	0	1	29	62
介護老人保健施設	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
障害者支援施設	0	5	0	0	1	0	12	0	0	0	0	17	35
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育関係施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	12	6	20	36	4	8	77	248	30	3	11	57	512
計	21	14	57	40	15	23	183	249	57	4	45	170	878

(2) 個別ケース処遇に関する技術指導・援助 延件数(再掲)

	المالية		<u> </u>				固別ケース	処遇検討	延件数	女)			
	老人精神保健	社会復帰	アルコ ール	薬物	ギャ ンブ ル	思春期	心の健康 づ く り	ひきこ もり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
保健所	1	0	0	0	0	0	12	0	1	0	0	6	20
区役所	4	1	25	3	3	9	72	1	16	1	33	51	219
福祉事務所	0	0	2	0	2	4	0	0	2	0	0	4	14
医療施設	0	1	8	1	4	1	8	0	7	0	1	29	60
介護老人保健施設	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
障害者支援施設	0	5	0	0	0	0	10	0	0	0	0	15	30
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育関係施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	11	6	9	20	3	8	67	243	19	3	3	53	445
計	20	13	44	24	12	22	169	244	45	4	37	158	792

(3) 個別ケース処遇に関する検討会議 延件数(再掲)

		技術指導・援助(個別ケース処遇検討会議 参加件数)											
	老人精 神保健	社会復帰	アルコ ール	薬物	ギャン ブル	思春期	心の健康 づ く り	ひきこ もり	自殺関連	犯罪 被害	災害	その他	計
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区役所	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	23	1	29
福祉事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育関係施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	2	6	0	1	1	230	0	0	0	1	242
計	1	0	4	6	0	1	4	230	0	0	23	2	271

(4) 関係機関事業に関する技術支援・援助 延件数(再掲)

				技術	指導・援	助(個別	ケース処遇	検討会議	表 参加作	‡数)			
	老人精 神保健	社会復帰	アルコ ール	薬物	ギャン ブル	思春期	心の健康 づ く り	ひきこ もり	自殺関連	犯罪 被害	災害	その他	計
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区役所	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	5	9
福祉事務所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
医療施設	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者支援施設	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	4
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育関係施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	4	9	1	0	9	4	10	0	6	3	47
計	1	1	6	9	2	1	12	4	11	0	6	10	63

7 自殺・うつ対策

日本の自殺者数が減少しているように、本市でも減少こそしているものの、いまだ約 100 名の方が亡くなっている現状がある。本市の自殺対策の体制は、自殺対策の主管課である障がい保健福祉課(精神保健福祉室)が自殺対策連絡協議会や啓発活動等を行い、こころの健康センターが包括相談会の開催、ゲートキーパー養成講座・自殺予防研修会等の教育研修、自死遺族グループミーティング及びリーフレット・パネル作成等の普及啓発を通して、自殺の防止を図っている。

(1) くらしとこころの悩みの相談会(包括相談会)

自殺の社会的要因である、失業、倒産、多重債務問題等に対する生活相談や高齢介護、障がい者福祉に関する相談、こころの健康に関する相談を併せて行い、抱えている問題の解決を図る機会を提供することを目的として実施している。特に平成28年度からは、熊本地震被災者支援として実施。また、例年どおり、9月と3月の相談会は熊本県弁護士会との共催で行った。

	相談内容・職種	多重債務等の法律 及び生活に関する 相談件数	病気・こころの 健康に関する 相談件数		多重債務等 生活に関する 相談件数	就労に関する相談 件数	その他	合計 (実人 数)	
期日		弁護士	精神科 臨床 医師 心理士		生活自立支援 センター相談員	ハローワーク 相談員			
Н	30	19	24	14	11	6	0	74(58)	
再掲	6/8	5	4	1	3	1	0	14(11)	
掲	9/7	6	8	5	4	2	0	25(20)	
	12/21	3	4	4	1	2	0	14(10)	
	3/8	5	8	4	3	1	0	21(17)	

(2) 自死遺族グループミーティング(再掲)

大切な人を自死(自殺)で亡くした者が悩みや苦しみを話せる機会を提供することを目 的として実施している。

期日	回数	内容	参加人数
偶数月	7 回	フリートーク及び相談	延 24 人
第3木曜日		1回は「自死遺族・遺児のための交流会」を開催(熊本県精神保	
14:00~16:00		健福祉センター共催)	

(3) 自殺対策講演会(再掲)

市民を対象に、アルコールと心身の健康との関連について理解を深め、依存症予防に関して普及啓発を行うことで自殺対策を図る。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 9. 22	講話「楽しく長生きできるお酒との付き	久里浜医療センター	53人
	合い方」	真栄里 仁 氏	

(4) ゲートキーパー養成講座(再掲)

自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの習得することを目的とした講 座等を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 6. 15	自殺を考える人、自殺を計画する人のサインを見逃さ	こころの健康センター	44 人
12.13	ず、危険性をはかり、安全計画を立てた上で、専門家等	職員	
12. 14	へつなぐ一連の対応について、実際の場面でのスキルを		
	身につけるためのロールプレイ型実践研修		

期日	内容	講師	参加人数
1120 0 20	熊大公衆衛生看護学学生の学生実習にてゲートキーパー	こころの健康センター	23 人
H30. 8. 28	についての講話	職員	
	医師臨床研修にて、医師向けに自殺対策事業説明、ゲー	こころの健康センター	4人
H30. 10. 24	トキーパーについての講話・相談機関の紹介	職員	
1100 44 0	東区障がい福祉ネットワーク会議にてゲートキーパーや	こころの健康センター	19人
H30. 11. 8	ストレス・マネジメントについての講話	職員	
	庁内管理職向けにゲートキーパーについての講話	カウンセリングオフィ	55人
H30, 12, 26		ス・KMJ メンタルアシス	
1130. 12. 20		F	
		松下 弘子 氏	
H31, 1, 28	熊本市民生委員・児童委員全体研修会にてゲートキーパ	こころの健康センター	1,377人
1131. 1. 20	ーについての講話	職員	
H31. 2. 4	ウェルパルくまもと職員向けにゲートキーパーについて	こころの健康センター	66 人
3. 18	の講話(安全衛生委員会共催)	職員	

(5)自殺予防研修会(再掲)

精神保健福祉活動に従事する支援者に対して自殺予防の研修会を開催し、自殺予防の推進を図る。一部研修会(※)は、平成 28 年熊本地震の影響を受け、災害時のこころのケア研修として実施。熊本県精神保健福祉センター、熊本こころのケアセンターと共催で開催した。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 6. 27	電話対応スキルアップ研修会	カウンセリングオフィス・KMJ メ	59人
	講話・演習	ンタルアシスト	
	「聴く力と伝える力で市民サービスを向上させるに	松下 弘子 氏	
	は」		
H30. 7. 31	講話「青少年の自殺予防」	直方中村病院	140人
		今村 芳博 氏	
	講話「遺された子どもの今と未来を支えるために」	NPO 法人こどもグリーフサポート	
		ふくおか	
		秋田 寛子 氏	
H30.8.9	講話・グループワーク (※)	兵庫県こころのケアセンター	41 人
	「サイコロジカル・リカバリースキル」	大澤 智子 氏	
H30. 10. 8	講話「自死予防と家族や周囲(支援者等)へのケアに	国立病院機構熊本医療センター	23 人
	ついて〜医療現場から地域の支援に向けて〜」(熊本	橋本 聡 氏	
	県精神保健福祉センター共催)		
H30. 10. 10	講話・グループワーク (※)	兵庫県こころのケアセンター	116人
	「サイコロジカル・ファーストエイド」	大澤智子氏	
H30. 11. 14	熊本で学ぶ災害復興期のこころのケア〜仮設住宅から	熊本こころのケアセンター	160人
	新たなコミュニティへ〜 (※)	矢田部 裕介 氏	
	講話「熊本地震とこころのケア〜今、何合目?〜」	宮城県南三陸町地域包括支援セン	
	講話「市町村保健師による心のケア〜地域保健活動を	ター	
	通してのコミュニティづくり~」	工藤 初恵 氏	
	講話「生活者の視点に立った心のケア〜災害公営住宅	みやぎ心のケアセンター 石巻地	
	の現状と対策~」	域センター	
	鼎談	岡崎 茂 氏	
H30. 11. 16	自殺対策計画策定研修会	ヘルスポロモーション推進センタ	66 人
	講話「一人ひとりのこころの元気づくりに向けて〜誰	ー (オフィスいわむろ)	
	にでもできる自殺対策~」	岩室 紳也 氏	

8 依存症対策

(1) 依存症当事者グループミーティング(再掲)

依存症当事者を対象とし、依存症の回復プログラムを用いて、やめたくても自分でコントロールできない様々な行動を変えていくことを目的としたグループミーティングを行っている。

期日	回数	内容	講師	参加人数
毎月	24回	12 ステップを用いたグループミ	相談支援センター	延108人
第 1·3 金曜日		ーティング	熊本ダルク施設長	
14:00~16:00			田邊 忠司 氏	

(2) 依存症家族教室(再掲)

アルコールや薬物・ギャンブルなどの依存症に伴う問題に対応するために、家族が学び あい、共感と癒しを得る機会を提供する。

期日 回数		内容	参加人数
毎月第1火曜日18:30~20:30	22 回	「依存症」についての講話、回復者からの	延119人
毎月第3火曜日13:30~15:30		体験談、家族の学習会、コミュニケーショ	
		ンなどについて	

(3) 依存症講演会(こころの健康づくり講演会・家族教室)(再掲)

依存症で悩む家族が家族関係について正しい知識を習得し、問題行動への対応を学ぶための機会として実施している。また、広く市民を対象とし、「心の健康づくり」として依存症に関わる啓発を行っている。

期日	内容	講師	参加人数
H30.11.11	講演	(株)アスク・ヒューマ	56人
	「わかっているけどやめられない〜家族	ン・ケア取締役、研修相談	
	崩壊につながるアルコール依存症等につ	センター所長	
	いて~」	水澤 都加佐 氏	
	家族教室	同上	41 人
	「依存症を抱える家族問題〜共依存につ		
	いて~」		

(4) 依存症予防普及啓発講話

市民に対して、依存症についての知識を普及啓発することを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 7. 11	熊本市立下益城城南中学校にて全校生徒を対	こころの健康センター職員	554人
	象に、薬物乱用防止・薬物依存症について講		
	話。		
H30.9.8	城西校区民生委員・児童委員協議会にて民生	こころの健康センター職員	20人
	児童委員を対象に、依存症について講話。		
H31. 2. 22	熊本市立城西中学校にて全校生徒を対象に、	こころの健康センター職員	225人
	飲酒・薬物乱用防止、依存症について講話。		
H31.3.6	熊本市立力合小学校にて6年生を対象に、飲	こころの健康センター職員	106人
	酒・薬物乱用防止、依存症について講話。		

(5) 依存症研修会・講演会(再掲)

精神保健福祉業務に従事する者が、依存症についての必要な専門的知識及び技術を習得することで、依存症への適切な対応の充実を図ることを目的に実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 9. 21	講話	久里浜医療センター	93人
	「アルコール治療の最近の動向と、依存	真栄里 仁 氏	
	症者への支援」		

(6) 保護観察所でのストレス講話(引受人会)

薬物事犯により、矯正施設に収容されている方の帰住先の引受人に対し、薬物依存に関する講話とともに、家族のストレスケアについて講話。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 7. 13	・薬物依存について	こころの健康	28 人
H30. 10. 12 H31. 1. 17	・家族教室の案内 ・当事者グループミーティングの案内 ・家族のストレスケア	センター職員	21 人

9 精神障がい者の社会復帰支援

精神障がい者のピアサポートや、就労支援関係機関と連携し就労支援を行うことにより、精神障がい者の社会復帰を促進している。

(1) 就労ミーティング

デイ・ケアの修了者を対象に、生活支援・就労支援を目的にミーティングを実施している。

(就労ミーティング:デイ・ケア修了~)デイ・ケア終了後の生活や自身の体調等を振り返る。また、働くことへの意識を持てるよう、就労について話し合う。

期日	内容	参加人数
H30. 4. 18 ~ H31. 3. 20	就労ミーティング 毎月第3水曜に実施(11:00〜12:00) 修了者全員を対象に、就労・就労継続についての話し合いを実施。	延46人

(2) ピアサポート講座(再掲)

精神障がい者が、その経験を生かし、理解と共感を持って仲間をサポートしていけるように知識や情報を知る機会を提供することを目的に実施している。また、講座修了者等を対象にピアサポートスキルの向上やさらなる知識の習得に向けたフォロー研修の機会を提供している。

期日	内容	講師	参加人数
H30.8.3	第1回	こころの健康センター職員	14人
	・「ピアサポートを考えよう!」		
	・グループワーク・意見交換		
H30. 8. 10	第2回	①一般財団法人杏仁会くまも	11人
	・「ピアサポート実践者の話を聞いてみよ	と青明病院ピアサポート専	
	う!」	門員	
	・「精神障がい者地域移行・地域定着支援	②ピアサポートくまもと	
	でのピアサポーターの役割」	ピアサポーター2名	
	・グループワーク・意見交換	③障がい保健福祉課	
		精神保健福祉室職員	
H30. 8. 17	第3回	①ピアサポートくまもと	12人
	・「私のリカバリー~体験談とピアサポート」	ピアサポーター2名	
	・「ピアサポートで大切にしたいこと」	②こころの健康センター職員	
	・グループワーク・意見交換・情報提供		

(3) ピアサポートの集い(フォロー研修) (再掲)

期日	内容	講師	参加人数
H30. 5. 21	第1回	こころの健康センター職員	7人
	・「ピアサポートのさまざまなかたち」		
	・グループワーク		
	・情報提供		
H30. 11. 22	第2回	こころの健康センター職員	9人
	・「ピアサポートにおける距離感~バウ		
	ンダリー~」		
	・グループワーク		
	・情報提供		
H31. 3. 11	第3回	こころの健康センター職員	10人
	・「リカバリーに大切なこと~ストレン		
	グス~」		
	・グループワーク		
	・情報提供		

(4) ピアサポート講演会(再掲)

当事者、支援者、市民等に向けて他都市で行われているピアサポート活動を紹介し、ピアサポートの普及・啓発を図ることを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 7. 9	「当事者性を活かしたピアサポート〜当事者・支援者の立場から〜」	株式会社 MARS 代表取締役/ 精神保健福祉士 中田健士 氏 千葉県精神障がい者ピアサポート専門員/株式会社 MARS 就労移行支援事業所 コパス 就労支援員 櫻田なつみ 氏	60 人
	「退院支援を通したピアサポート活動」	熊本市登録ピアサポーター	

(5) WRAP(元気回復行動プラン)集中クラス(再掲)

日常生活で苦労や困難に直面した際に WRAP(元気回復行動プラン)を利用して、元気を回復する、または元気を保つための方法を学ぶ機会を提供することを目的として実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30. 8. 29	WRAP(元気回復行動プラン)	WRAP ファシリテーター	実 17 人
~8.30		3名	延 33 人

(6) 精神障がい者社会復帰支援(認知機能)研修・講演会(再掲)

精神障がい者の社会復帰促進を目的に関係機関職員に対する人材育成としての教育研修を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H30.12.3	「認知機能トレーニングをリカバリーや	NPO 法人日本学び協会ワン	77人
	就労支援に活かす」	モア 統括所長 作業療法士	
		芳賀 大輔 氏	

(7) 精神障がい者社会復帰支援 認知機能ミニ研修会(再掲)

医療機関をはじめ支援機関スタッフが、認知機能の視点を持った支援や、認知機能の訓練や活動を現場に取り入れていくための動機づけを図ることを目的にした研修会を実施している。

期日	内容	講師	参加人数
H31.2.27	「認知機能について」	こころの健康セン	8人
(対象)	「パソコンソフト"JCORES"を活用した認知	ター職員	
医療機関	機能リハビリテーション」		
	「認知機能の支援への活かし方」		
H31. 2. 28	同上	同上	12人
(対象)			
就労移行支援事			
業所			

10 ひきこもり対策推進事業

ひきこもり支援のさらなる充実をはかるために平成 26 年 10 月よりひきこもり支援センターを設置し、運営業務を委託している。

(1) ひきこもり支援センター 「りんく」

平成26年10月より、本市にお住まいのひきこもり状態にある本人及びその家族等の第一次相談窓口として、ひきこもり対策推進事業における「ひきこもり地域支援センター」として、ひきこもり支援センター「りんく」を設置した。実施主体は熊本市であるが、事業運営についてはNPO法人に委託を行っている。

(2) センター概要

開所日:平日 8:30~17:15

場所:熊本市中央区大江5丁目1番1号

熊本市総合保健福祉センター(ウェルパルくまもと)3階

対象者:熊本市内在住のひきこもり状態の方及びその家族等

スタッフ:スタッフ:専属3名(精神保健福祉士、臨床心理士)非常勤1名

運営主体: NPO法人お~さぁ

(3) 事業内容

1) 相談事業

来所、電話、メール等で相談対応をしている。必要に応じて訪問を行っている。

2) 関係機関との連携

(ア) ひきこもり支援機関連絡協議会

ひきこもり状態にある本人及びその家族が切れ目なく適切な支援や情報等と 継続的につながることができるよう、官民協働による重層的かつ横断的なネット ワークを構築することを目的に実施している。(年2回開催)

3)普及啓発

(ア) リーフレット作成・配布

「ひきこもり ひとりで悩まないで」、「熊本市ひきこもり支援センター「りんく」を作成し配布している。

(イ)講演会

市民・支援者向けに「ひきこもり」に関する理解を深めるため、講演会を開催 している。

(ウ) 研修会

市民・支援者向けに「ひきこもり」に関する理解を深め、対応について学ぶため、研修会を開催している。

4) ひきこもりサポーター養成

ひきこもり状態の本人や家族等への支援に関心のある方をサポーターとして養成する。

(ア) 一般向け ひきこもりサポーター養成研修及び分科会

家族や一般の方を対象に、養成研修を実施している。全て出席するとサポーター として認定している。

(イ) ピアサポーター養成研修

ひきこもり状態の本人を対象に、2 回の研修を実施している。全て受講するとサポーターとして認定している。

5) その他のひきこもり対策推進事業

(ア) ひきこもり家族教室

同じ悩みを抱えた家族同士が自由な雰囲気で話し合い、当事者への理解を深める場として家族教室を実施している。(月1回 13:30~15:30)

(イ) ひきこもり当事者プログラム

ひきこもり状態の方が安心して過ごせる場として、交流や社会性向上を目的に各種活動を実施している。(週2回 14:00~15:30)

<実績>

	電話相談	メール相談	来所相談	訪問相談
H30	269 (1371)	17 (88)	185 (765)	34 (226)

数は実件数(延べ件数)

	ひきこも り支援機 関連絡協 議会	研修会	講演会	ひきこもり サポーター 養成研修 (一般向 け)	ピアサポ ーター養 成研修 (本人向 け)	集団プログラ ム (本人向 け・出張型含 む)	集団プログラ ム (家族向 け・出張型含 む)
H27	62(2回)	132(12回)	77 (2回)	92(16回)	9(8回)	408(127回)	133(42回)
H28	57(2回)	52(4回)	119(2回)	76 (8回)	8(8回)	258(130回)	119(49回)
H29	53(2回)	39(3回)	82(1回)	80 (8回)	4(2回)	287(100回)	69(12回)
H30	49(2回)	53(3回)	42 (1回)	59 (9回)	2(2回)	270(98回)	56(12回)

延べ参加人数(回数) 平成28年度までは集団プログラム本人向け・家族向けは東区・西区・南区・北区でも開催していたが、平成29年度からはウェルパルのみで実施。

1 1 自立支援医療費(精神通院医療)及び精神障害者保健福祉手帳の判定 当センターでは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、自立支援医療 (精神通院医療)の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行っている。

(1) 自立支援医療費(精神通院)

年度	年度申請件数		不承認
H28	13, 030	13, 021	9
H29	14, 079	14, 073	6
H30	14, 270	14, 260	10

(2)精神障害者保健福祉手帳

1)診断書による申請件数

年度	新規申請	更新申請	等級変更	計
H28	562	1, 470	23	2, 055
H29	631	1, 728	33	2, 392
H30	598	1,710	25	2, 333

[※]取り下げを除く。

2)診断書による申請の判定結果

年度	1級	2級	3級	保留	不承認	計
H28	254	1, 298	465	29	38	2,055
H29	298	1,472	586	38	36	2, 392
H30	281	1,412	625	26	15	2, 333

[※]保留については、最終的に1~3級若しくは不承認と認定されている。

3) 年金証書による申請件数

年度	新規申請	更新申請	等級変更	計
H28	106	1,869	14	1, 989
H29	142	1, 924	16	2, 082
H30	163	1,960	19	2, 142

[※]取り下げを除く。

4) 年金証書による申請の認定件数

年度	1級	2級	3級	保留	不承認	計
H28	321	1, 495	141	4	28	1,989
H29	306	1,599	146	5	26	2,082
H30	320	1,677	157	3	15	2, 172

[※]保留については、年金事務所等の照会先からの回答が、設定した期限に間に合わない場合等を含む。

5)精神障害者保健福祉手帳所持者数

年度	1級	2級	3級	計
H28	1, 138	5, 688	1, 375	8, 201
H29	1, 154	6, 069	1, 397	8, 620
H30	1, 147	6, 264	1, 507	8, 918

12 精神医療審査会の審査に関する事務

当センターでは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会の開催事務、審査遂行上必要な調査及びその他審査会の運営に関する事務を行っている。

(1) 定期等の報告

年度	措置定期	医保定期	医保入院	計
H28	39	770	2, 264	3, 073
H29	36	709	2, 243	2, 988
H30	28	668	2, 177	2, 873

(2) 退院等請求 (請求件数、審査結果の内訳)

	退院請求			処遇改 善 請求			
年度	審査件数	取り下 げ・終了	計	審査件数	取り下 げ・終了	計	
H28	42	17	59	17	7	24	
H29	32	9	41	12	7	19	
H30	29	11	40	14	4	18	

左连	退院請求				処遇改 善 請求		
年度	入院不適	形態変更	入院継続	計	処遇適当	処遇不適	計
H28	1	3	38	42	16	1	17
H29	0	1	31	32	12	0	12
H30	0	1	28	29	14	0	14

(3)相談等件数

年度	電話相談件数	電話延件数	請求書送付件数	請求の電話受理件数
H28	117	237	89	0
H29	104	224	66	0
H30	116	235	65	0

(4) 代理人・家族等による請求

年度	代理人	家族等	計
H28	6	0	6
H29	7	0	7
H30	7	1	8

Ⅲ 平成 28 年熊本地震への対応(平成 30 年度活動分)

熊本地震発災後は、医療機関や関係機関の稼働状況の情報収集・提供、自助グループの活動状況の情報収集・提供、被災者や庁内外の関係者向けの資料の作成・提供と相談対応、災害後のこころのケアに関する市民への啓発や関係者への研修等の人材育成、各区役所の地域ささえ合いセンター職員への巡回相談等を行った。

平成30年度は、平成29年度に引き続き震災後の中長期の精神保健活動として活動を継続した。

(1) 相談

1)電話相談

年度	総数(再掲)	震災関連の相談数	震災関連の割合
H28	7, 643	556	7.3%
H29	6,587	80	1.2%
H30	6, 562	31	0.5%

月平均の電話相談件数は、震災後増加したが、平成 29 年度には震災前の状況に戻り、平成 30 年度も維持している。

平成30年度の震災関連の相談のうち「心身の不調」を訴えられたのは8件 (25.8%)であり、平成29年度の65件(81.3%)に比較し激減している。内容としては「現在も震災後眠れない」「やる気がなくなった」などであった。その他、生活再建が7件(22.6%)、心身の不調はないが、地震直後に別件の相談に併せて「地震がありましたね」と話題にされた場合も災害関連として件数に含まれている。

2)来所相談

通常の来所相談の中で対応。

震災関連の相談は平成 28 年度が延べ 25 件、平成 29 年度は 1 件、平成 30 年度は延べ 8 件であった。

3)包括相談会 (再掲)

年4回実施している精神科医師、弁護士、臨床心理士、生活自立支援センター等による包括相談会に関しては、平成 28 年度から、被災者への支援を考慮して相談対応者に ハローワークを加えて実施した。

(2) 広報・啓発

1) 市民、職員向け資料作成・提供

震災後に作成した資料に関しては、平成28年度所報に掲載(8種)した。現在は以下2種をホームページに掲載している。

内 容 「被災されたみなさまへ」 「飲みすぎに注意しましょう」

2) テレビ、ラジオ、広報等での情報提供

震災後は、災害後の心理的な影響や対処法、震災後のこころの変化と対応、相談先の情報提供、相談会や講演会の案内等をラジオやテレビ、広報紙やタウンページ等で情報提供した。平成30年度も平成29年度に引き続き相談先の情報提供と相談会や講演会の案内を継続して実施した。

3) 市民向け講演会:災害後に懸念されるアルコール問題に関する啓発(再掲)

期日	内 容	参加数
H30. 9. 22	講話「楽しく長生きできるお酒との付き合い方」	53人
H30.11.11	市民向け講演会「わかっているけどやめられない〜家族崩壊につ ながるアルコール依存症等について〜」	56 人
	家族教室「依存症を抱える家族問題〜共依存について〜」	41 人

(3)人材育成

1)支援者向け研修(庁内外向け)(再掲)

災害関連の研修会は、平成28年度以降、熊本県精神保健福祉センターや熊本こころのケアセンターと3者共催で企画実施した。

(対象:県、市町村職員、精神科医療機関、教育関係機関等、災害支援関係者)

期日	内容	講師	参加人数
H30. 8. 8, 9	講話・グループワーク	兵庫県こころのケアセンター	41 人
	「サイコロジカル・リカバリースキル」	大澤智子氏	
H30. 10. 10	講話・グループワーク	兵庫県こころのケアセンター	116人
	「サイコロジカル・ファーストエイド」	大澤 智子 氏	
H30. 11. 14	熊本で学ぶ災害復興期のこころのケア〜仮設住	熊本こころのケアセンター	160人
	宅から新たなコミュニティへ~	矢田部 裕介 氏	
	講話「熊本地震とこころのケア〜今、何合目?〜」	宮城県南三陸町地域包括支援	
	講話「市町村保健師による心のケア〜地域保健活	センター	
	動を通してのコミュニティづくり~」	工藤 初恵 氏	
		みやぎ心のケアセンター 石	
	講話「生活者の視点に立った心のケア〜災害公営	巻地域センター	
	住宅の現状と対策~」	岡崎茂氏	
	鼎談		

2) 自殺のゲート・キーパー養成講座

災害後に増加が懸念される自殺を防ぐために、地域支援者等が自殺危機介入スキルの 習得を目的とした講座(庁内外の支援者向け)(再掲)

期日	内 容	参加人数
H30. 6. 15		24人
H30. 12. 13	自殺のサインを見逃さず、専門家へ繋ぐスキルを身につける	10人
H30. 12. 14		10人

(4)技術支援

1)関係機関への技術支援

平成 28 年度のうち災害関連での技術支援件数は総件数 1,391 件中 207 件 (14.9%)。平成 29 年度は、総件数 850 件中 64 件 (7.5%)、平成 30 年度は 878 件中 45 件 (5.1%) であった。

各区役所福祉課内の地域ささえ合いセンターからの相談が主であった。 内容は震災後のメンタル不調が続く被災者への支援に加え、発達障害や虐待 問題のある被災者支援についての相談が寄せられた。

2) 精神科医師による区役所巡回相談(支援者向け)

平成28年11月1日に5区役所に設置された「地域支え合いセンター」にて、みなし仮設に入居中の支援にあたっている看護師を主な対象として、区役所への巡回相談を継続して実施した。

年度	回数	ケース数	参加者
H28(2月開始)	5	15	57
H29	12	41	161
H30	9	25	121

(5) 熊本こころのケアセンターについて(参考)

熊本地震の被災者の心のケアを中長期的に行うための拠点として熊本県が設置。本市を含む熊本県内全域を活動範囲としており、精神科医師、保健師、精神保健福祉士等からなる9名の常勤スタッフ及び非常勤スタッフで構成されている。

- ① 開設日 平成28年10月17日
- ② 所在地 熊本市東区月出3丁目 1-120 (熊本県精神保健福祉センター内)
- ③ 事業実施方法 熊本県が公益社団法人熊本県精神科協会に事業を委託
- ④ 主な業務内容 被災者への相談支援、支援者への支援、人材育成、普及啓発等
- ⑤ 相談状況 対応件数は、以下のとおりであった。

年度	県内全域	熊本市			
	(熊本市含)		電話	来所	訪問
H28(10/17~)	196	79	74	5	0
H29	1, 032	261	195	24	42
H30	951	331	261	29	41
合計	2, 179	671	530	58	83

平成30年度 熊本市こころの健康センター所報 令和元年11月22日 発行

発行元

熊本市こころの健康センター 〒862-0971

熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルくまもと3階 TEL:096-366-1171 FAX:096-366-1173